

うめ組の生活


陵ヶ岡こども園

令和4年4月8日

年間目標 生理的欲求を満ち、人と気持ちが通じ合う中、いろんなものと関わろうとする

- ・衛生的で安全な環境の中で、ひとりひとりの生活リズムを大切にしながら、生命の保持を図る
- ・特定の保育者と関わることで、生理的な要求を満ちし情緒の安定を図り、愛着関係を築く
- ・生活や遊びの中で、保育者に気持ちを受け止めてもらい安心して自己を表現する
- ・個人差を考慮し、離乳の完成や、歩行・言葉の発達を促す
- ・保育者や友だちとたくさん遊び、人と関わることを楽しむ
- ・ひとりひとりの個人差に留意しながら、五感を働かせる経験を通して、豊かな感性を促す

1日の生活の流れ

～9:00	登園
10:00	きらきらタイム 「遊びと学び」
10:40	離乳食・給食
12:00	午睡
～2:30	
2:30	※着替えやオムツ交換は適宜行います。
3:00	おやつ
3:45～	延長保育

生活面においては一人ひとりのリズムを大切にしながら進めていきたいと思っております

登園時間は9:00までです。余裕を持って登園しましょう！欠席の連絡も9:00までにしてください。

室内遊び、園庭、散歩・・・子どもの心が動くことを大切に寄り添っています。遊びが学びにつながります。いっぱい遊べる子どもに育てましょう。

落ち着いて食べられるよう毎日同じ時間、同じお友達や保育者と、食べるようにしています。一人ひとりとの関わりを大切に進めていきます。

ホームページ・ドキュメンテーション

毎週HPで日々の遊びや生活の様子など写真を載せてお伝えしています。お家とは違う姿や園生活で経験したことなど見て頂き、子ども達と一緒に楽しんでください。

また、継続した遊びや成長の姿をドキュメンテーションでお知らせします！

こども園に通う子どもは、園に通っていない家庭の子どもよりも親と離れる時間が多いものです。ご家庭で過ごされる時間は、園での集団保育では到底及ばない暖かい環境ですので、絆を深める大切な時間にしていただきたく、両親どちらかがお休みの場合や祖父母の方のご協力をいただける場合は、家庭での保育をしていただくようお願いいたします。

～生活習慣について～

○食事○



抱っこ食べや少人数で楽しくゆったりとした雰囲気の中、スプーンを使って自分で食べようとする気持ちを大切にすすめています。それぞれの月齢や一人ひとりに応じたメニューを、栄養士と相談しながら作成しています。

○健康・衛生○



暑さ、寒さを肌で感じられるようにし、健康な身体作りのためにもなるべく薄着の習慣が身に付くようにしましょう。体温調節がうまく出来ない時でもあるので無理なくすすめていきたいと思えます。お座りが出来るようになったら、動きやすいよう上下分かれた服装にして下さい。

おねがい



※すこやかノートには毎日、体温・食事（ミルクを飲んだ時間と量）・排便・お迎えの時間などの記入をお願いします。（お休みの日も必ず記入をしてください）

※37℃以上の熱や咳がひどい時、下痢・嘔吐などの症状やがある時は無理せずお休みしてください。（必ず登園前に検温をしてください）

保育中に発熱や体調不良の際は連絡をしますので速やかにお迎えにきてください。

※こども園では感染症の予防のために手洗いを徹底しています。お家でもご協力よろしくお願ひします。

※全ての持ち物に必ず**大きくはっきり**と名前を記入してください。

※急なお知らせがある時はイロドリアプリでお知らせしますので必ず確認してください。

※衣服は持ち帰った分を次の日に補充してください。

※けが防止のため、爪はこまめに切ってください。また成長の過程で噛みつきが見られる事があります。事前に防げるよう気をつけていきますがご理解の程よろしくお願ひいたします。

○排泄○



オムツが濡れた気持ち悪さや、替えたときの心地よさが感じられるよう、声をかけ、スキンシップをはかりながら交換しています。成長とともに仕草や行動で出た事を知らせてくれた時は、一緒に喜び次への成功へと繋げていけるといいですね。また様子を見てオマルに慣れるようにもしていきます。

○あそび・おともだち○



自分の好きな場所や遊びを見つけじっくりと楽しんでほしいと思えます。保育者との関わり遊びが展開されていく中で少しずつお友だちにも目を向けられるようになっていきます。

自我が芽生え、トラブルもあるかと思えますが関わりを大切に、思いを受け止め伸び伸びと遊びを楽しめるように見守り進めていきます。

また、初めて親以外の大人と過ごす中で人のぬくもりや安心感を感じ人間関係の基礎を作る時期です。1対1での関わりも大切にしながらか人への愛着心を持てるようにしていきたいと思えます。